

各 位

平成 13 年 10 月 5 日

会 社 名 株式会社日本ユニパックホールディング
代 表 者 名 取締役社長 小林 正夫
コ ー ド 番 号 3 8 9 3
問 い 合 せ 先 企画・管理G 取締役 石川 博敏
電 話 (0 3) 3 2 1 8 - 9 3 0 0

連結業績予想の修正および当社子会社（日本板紙株式会社）の
業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、当社が平成 13 年 5 月 25 日付決算短信発表時に公表した、第一期（平成 13 年 3 月 30 日～平成 13 年 9 月 30 日）、第二期（平成 13 年 10 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）および平成 13 年度通期の連結業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせ致します。

あわせて、当社子会社である日本板紙株式会社の平成 13 年 5 月 25 日付決算短信発表時に公表した、平成 14 年 3 月期中間期（平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日）および平成 14 年 3 月期通期（平成 13 年 10 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）の業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせ致します。

なお、当社の連結業績予想数値は上記日本板紙株式会社の業績予想修正に伴う影響を織り込んで作成しております。

以上

各 位

平成 13年 10月 5 日

会 社 名 (株)日本ユニパックホールディング
代表者名 取締役社長 小林 正夫
コード番号 3893
問合せ先 企画・管理 G 取締役 石川 博敏
TEL (03) 3218 - 9300

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13 年 5 月 25 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 第一期連結業績予想数値の修正 (平成 13 年 3 月 30 日 ~ 平成 13 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13 年 5 月 25 日 発表)	670,000	28,000	8,000
今回修正予想(B)	620,000	12,000	1,500
増減額(B - A)	50,000	16,000	6,500
増減率	7.5	57.1	81.3

2. 第二期連結業績予想数値の修正 (平成 13 年 10 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13 年 5 月 25 日 発表)	680,000	42,000	22,000
今回修正予想(B)	640,000	18,000	6,500
増減額(B - A)	40,000	24,000	15,500
増減率	5.9	57.1	70.5

3. 平成13年度通期連結業績予想数値の修正 (平成 13 年 3 月 30 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13 年 5 月 25 日 発表)	1,350,000	70,000	30,000
今回修正予想(B)	1,260,000	30,000	8,000
増減額(B - A)	90,000	40,000	22,000
増減率	6.7	57.1	73.3

4. 理 由

当 9 月期のわが国経済は、消費や雇用の低迷などに加え、世界経済の減速等の影響を受けて、厳しい局面で推移しました。

こうした中で、当グループは、需要減による生産・販売の減少および一部品種の価格下落により、当初の業績予想に対して大幅な減益となる見込であります。

また、通期の業績予想につきましては、事業統合効果の前倒し発現に努めるとともに、収益基盤強化対策に鋭意取り組んでまいりますが、厳しい経済基調が続くものと見込まれ、前記の通り当初の業績予想を修正いたします。

以上

各 位

平成 13年 10月 5日

会 社 名 日本板紙株式会社
代表者名 取締役社長 高橋貞春
コード番号 3869
問合せ先 経理部長 上木秀之
TEL (03) 3251 - 3101
当社の親会社 日本ユニパックホールディング
代表者名 取締役社長 小林正夫
コード番号 3893

業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13年 5月 25日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

I. 業績予想の修正

1. 14年 3月期中間業績予想数値の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 25日 発表)	36,000	△ 800	△ 2,000
今回修正予想(B)	32,700	△ 2,700	△ 3,100
増減額(B-A)	△ 3,300	△ 1,900	△ 1,100
増減率	△ 9.2	-	-
前期(平成12年 9月中間期)実績	39,867	201	△ 1,705

2. 14年 3月期連結中間業績予想数値の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 25日 発表)	53,500	△ 800	△ 2,300
今回修正予想(B)	48,400	△ 2,700	△ 3,700
増減額(B-A)	△ 5,100	△ 1,900	△ 1,400
増減率	△ 9.5	-	-
前期(平成12年 9月中間期)実績	55,321	6	△ 2,584

3. 14年3月期通期業績予想数値の修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成13年5月25日発表)	74,000	1,200	4,000
今回修正予想(B)	67,000	△3,900	△1,500
増減額(B-A)	△7,000	△5,100	△5,500
増減率	△9.5	-	-
前期(平成13年3月期)実績	76,563	130	△5,413

4. 14年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成13年5月25日発表)	105,000	1,400	3,700
今回修正予想(B)	99,000	△3,600	△2,200
増減額(B-A)	△6,000	△5,000	△5,900
増減率	△5.7	-	-
前期(平成13年3月期)実績	107,166	△96	△6,038

5. 理由

当中間期はIT関連需要の急激な落込みなどにより景気が低迷するなかで、段ボール需給環境の悪化や製品市況の低落が顕著となり、かつてない深刻な状況で推移致しました。

当社は減産による在庫圧縮など積極的に市況対策を講ずると共に、徹底したコスト削減に努力してまいりましたが、かかる状況のなかで売上高、利益は当初業績予想を大巾に下回る見込みであります。

通期業績予想につきましては、引続き市況の改善と、一層徹底したコストの削減を図るとともに、板紙共販体制を活かし、最適生産体制の構築と積極的な営業活動を推進してまいりますが、当面の景況はなお厳しい状況が続くものと見込まれますので、記載の通り当初の業績予想を修正致します。

II. 配当予想の修正

1. 修正の内容

(単位:円)

	中間期	期末	年間
前回発表予想 (平成13年5月25日発表)	0.00	未定	未定
今回修正予想	0.00	0.00	0.00
前期(平成13年3月期)実績	0.00	0.00	0.00

2. 修正の理由

上記の業績見通しにより、配当予想を修正致します。

以 上